

健康ちば21（第3次）の概念図

「全ての県民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」という基本理念のもと、誰一人取り残さない健康づくりの展開と、より実効性を持つ取組を推進し、「健康寿命の延伸」及び「健康格差の縮小」を目指します。

【4つの柱】

- I 個人の生活習慣の改善と生活機能の維持向上
- II 生活習慣病（NCDs）の発症予防と重症化予防
- III つながりを生かし、健康を守り支える環境づくり
- IV ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

全ての県民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現

健康寿命の延伸・健康格差の縮小

I 個人の生活習慣の改善と生活機能の維持向上

II 生活習慣病（NCDs）の発症予防と重症化予防

生活習慣の改善
（リスクファクターの低減）

生活習慣病
（NCDs）の
発症予防

生活習慣病
（NCDs）の
重症化予防

社会環境の質の向上

生活機能の維持・向上

個人の行動と健康状態の改善

III つながりを生かし、健康を守り支える環境づくり

自然に
健康になれる
環境づくり

社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上

誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備

IV ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり